

○ 研究生規則

平成 16 年 4 月 1 日

規 則 第 16 号

最終改正平成 19 年 3 月 5 日

研究生規則

(趣旨)

第 1 条 鈴鹿工業高等専門学校学則（平成 16 年学則第 1 号）第 59 条第 2 項の規定に基づき、研究生に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(入学資格)

第 2 条 研究生として入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 学科において研究する場合

イ 高等学校を卒業した者

ロ 本校が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(2) 専攻科において研究する場合

イ 高等専門学校を卒業した者

ロ 本校が高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(出願手続)

第 3 条 研究生を志願する者は、次の各号に定める書類を校長に提出しなければならない。

(1) 願書（別記様式第 1）

(2) 履歴書

(3) 前条の資格を証明する書類

(4) 健康診断書

(5) 現に勤務している者は、勤務先所属長の承諾書（別記様式第 2）

2 研究生を志願する者は、前項の出願の際に検定料を納付しなければならない。

(出願の期日)

第 4 条 研究生の出願の期限は、2 月末日とする。ただし、特別の事情があるときは、この限りでない。

(入学者の選考)

第 5 条 研究生の選考は、原則として書類審査により、校長が行う。

2 校長は、前項に規定する審査に当たっては、関係の学科長又は専攻科長並びに教養教育科長及び指導教員の意見を徴するものとする。

(入学の許可)

第 6 条 校長は、前条による選考に合格した者が所定の期日までに入学料を納付したときは、入学を許可する。

(入学の期間)

第7条 研究生の入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の事情があるときは、この限りでない。

(研究の時期)

第8条 研究の期間は、1年以内とする。

2 研究の期間が終了してもなお研究を継続しようとする者は、研究継続願（別記様式第3）に第3条第5号に定める書類を添えて校長に願い出るものとする。

3 校長は、前項の願出があつたときは、これを許可することができる。

4 研究期間の継続許可を得た者の検定料及び入学料は、徴収しない。

(検定料、入学料及び授業料)

第9条 研究生の検定料、入学料及び授業料の額は、それぞれ独立行政法人国立高等専門学校機構が定める額とする。

2 授業料は、在学予定期間の毎6月分に相当する額をそれぞれの期間における当初の月に納付しなければならない。ただし、在学予定期間が6月未満であるときは、その期間分に相当する額を当該期間の当初の月に納付するものとする。

3 既納の検定料、入学料及び授業料は、返還しない。

(指導教員)

第10条 研究生に研究上必要な指導助言を与えるため、指導教員を置く。

(授業等への出席)

第11条 指導教員が研究上必要と認めたときは、教科担当教員の許可を得て研究生をその講義または実験、実習等に出席させることができる。

(研究報告)

第12条 研究生がその研究を終了したときは、研究報告書を指導教員を経て校長に提出するものとする。

(証明書の交付)

第13条 校長は、研究生の願出により、その研究事項について証明書を交付することができる。

(退学、除籍)

第14条 研究生が途中で退学しようとするときは、その旨を指導教員に願い出て、校長の許可を受けなければならない。

2 校長は、研究生が病気その他の理由により成業の見込がなく、研究生として不適当と認められるときは、指導教員の申請により除籍することができる。

(研究費)

第15条 研究に必要な特別の費用は、研究生の負担とする。

附 則

この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

別記様式第1（第3条関係）

研 究 生 入 学 願 書

年 月 日

鈴鹿工業高等専門学校長 殿

現住所(〒)

電 話

氏 名

下記により学科・専攻科研究生として入学したいので、許可くださるよう関係書類を添えてお願いします。

記

研究題目：

研究期間	年	月	日から
	年	月	日まで
志望学科		学 科	
又は専攻科	専攻科	専 攻	

不要の文字は、一線で抹消すること。

別記様式第2（第3条関係）

承 諾 書

年 月 日

鈴鹿工業高等専門学校長 殿

所属機関

住 所

電 話

所 属 長

(記名押印又は署名)

下記の者が貴校学科・専攻科研究生として研究することを承諾します。

記

所属部課

氏 名

研究期間 年 月 日から

年 月 日まで

不要の文字は、一線で抹消すること。

別記様式第3（第8条関係）

研 究 継 続 願 書

年 月 日

鈴鹿工業高等専門学校長 殿

研究生氏名

年 月 日から学科・専攻科研究生として研究指導を受けておりますが、
このたび下記のとおり研究期間を継続したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

研究題目：.....
.....

指導教員 職名
氏名

研究期間 年 月 日から
年 月 日まで

研究継続理由：.....
.....

現に職を有している者は、勤務先所属長の承諾書を添付すること。
不要の文字は、一線で抹消すること。